

ワンツースリー One23

東京23区が
見える。
わかる。

Vol.29

2017
SUMMER

公益財団法人特別区協議会 特別区自治情報・交流センター発行の季刊広報誌

＼23区ここに来てね！／

区内おすすめ 観光スポット



- クマなくさんぽ
…環境学習情報館『えこっくる江東』
ワンツースリー
- とくべつクマ特別調査 23区の1・2・3
…外国人旅行者が訪れた訪問先ランキング
- 所蔵資料蔵出し
…昭和27年の東京にタイムスリップ「都民の手帖」
- これ、なんの数字?? … 56.5%→76.9%
- 墨田区「すみだ北斎美術館」紹介展示を開催します。
- 『とくべつクマ®』の着ぐるみ誕生！

答えは中面に！

外国人旅行者が
訪れた訪問先
ランキングで
一番多かった地域は
どこでしょう？



Question

とくべつクマ®

23区ここに来てね!
区内おすすめ
観光スポット



世田谷区
東京23区唯一の渓谷!
「等々力渓谷公園」

一步足を踏み入れると、そこは別世界。夏は3~4℃気温が低く、涼を求めて訪れるのにもおススメです!

世田谷区等々力1-22、2-37~38
☎03-3704-4972 玉川公園管理事務所



江戸川区
人も野鳥も憩う「葛西臨海公園」

大観覧車やマグロの水槽がシンボル。鳥類園は23区有数のバードウォッチスポットです。

江戸川区臨海町6-2-1
☎03-5696-1331 葛西臨海公園サービスセンター



杉並区
アニメの歴史や制作過程を紹介
「杉並アニメーションミュージアム」

アニメ制作会社の大集積地にある日本初のミュージアム。国内外のファンが日々集います。

杉並区上荻3-29-5(杉並会館3・4階)
☎03-3396-1510 杉並アニメーションミュージアム



葛飾区
「男はつらいよ」寅さんの妹・諏訪さくらの「見送るさくら」像



墨田区
葛飾北斎をより身近に感じる拠点
「すみだ北斎美術館」

2016年11月にオープンした葛飾北斎の作品をメインに扱う美術館。葛飾北斎専門常設美術館としては世界初。

墨田区亀沢2-7-2
☎03-5777-8600 すみだ北斎美術館



大田区
大森東水辺スポーツ広場

真っ白なベトナムの砂を使った、都内唯一の常設ビーチバレーコートと多目的スポーツ広場です。ビーチバレーコート4面を有しています。

大田区平和の森公園2-2
☎03-3768-6204 大森ふるさとの浜辺公園事務所



渋谷区
世界に誇る日本のファッションストリート「表参道」

国内外のブランドの旗艦店が立ち並び、ウィンドウショッピングが楽しめる流行の発信地で、8月末には沿道で元氣祭スーパーよさこいも開催されます。

渋谷区神宮前1・4~6丁目
☎03-3463-1287 広報コミュニケーション課



台東区
「探せる・見せる・支える」をコンセプトに、来訪者へ役立つ情報・サービスを提供する「浅草文化観光センター」



目黒区
江戸時代からの観光名所「目黒不動尊」

徳川家光の庇護を受けて華麗を極め、当時から一般庶民の行楽地として親しまれています。

目黒区下目黒3-20-26
☎03-3712-7549 龍泉寺(目黒不動尊)寺務所



中野区
世界でも珍しい哲学をテーマにして創られた「中野区立哲学堂公園」

東洋大学創立者の井上円了が建立し、哲学に由来する建築物や碑、四季折々の風情が楽しめます。

中野区松が丘1-34-28
☎03-3951-2515 哲学堂公園管理事務所



豊島区
カフェレストランが併設された豊島区の新名所「南池袋公園」

昨年4月にリニューアル。カフェレストラン併設のお洒落な公園。芝生開放が人気です!

豊島区南池袋2-21-1
☎03-3981-0534 都市整備部公園緑地課公園管理グループ



足立区
ノスタルジー感じる「木電気」と路地散策



江東区
江戸をリアルに体験!「深川江戸資料館」

江戸時代末の町並みを実物大で再現しています。実際にお店や長屋にあって生活用具などに触れられる「体験型」の展示室です。

江東区白河1-3-28
☎03-3630-8625 深川江戸資料館



中央区
多言語による対面案内やタッチパネル端末、バーチャルマップなど、さまざまなサービスを提供しています。

中央区京橋2-2-1「京橋エドグラン」地下1階・1階
☎03-6262-6481 観光情報センター



北区
田端に集った文士・芸術家に出会える「田端文士村記念館」

芥川龍之介はじめ、田端に縁ある100名以上の文士・芸術家たちの資料を紹介しています。芥川家の復元模型(写真下)は必見!

北区田端6-1-2
☎03-5685-5171 田端文士村記念館



港区
地上150Mにある大展望台は、午前9時から午後11時まで営業して、無休です。



千代田区
「本の街」神田神保町

古くから学生の街だった神田神保町。今では国際的にも有名な本の街として賑わっています。

☎03-5211-4172 広報広聴課



板橋区
区立美術館「2017イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」

世界最大級の絵本原画コンクール「ボローニャ国際絵本原画展」の全入賞作品が見られます。今年は7月1日から開催!

板橋区赤塚5-34-27
☎03-3979-3251 板橋区立美術館



文京区
徳川家ゆかりの伝通院:朝顔市「こんにやくえんま」で知られる源覚寺:ほおずき市



荒川区
ゆいの森あらかわ

中央図書館、吉村昭記念文学館、ゆいの森子どもひろばが一体となった、あらゆる世代が活用できる新しい区のランドマークです。

荒川区荒川2-50-1
☎03-3891-4349 ゆいの森課



品川区
品川水族館「水族館×プール×緑いっぱいの公園で一日楽しもう」

都内唯一の屋外イルカショー!昨年リニューアルした区民公園屋外プールもおススメ!

品川区勝島3-2-1しながわ区民公園内
☎03-3762-3433 品川水族館



新宿区
JR新宿駅東口徒歩1分!「新宿観光案内所」

グルメ・ショッピング・宿泊・イベントなど新宿の多彩な観光情報のご案内はおまかせください。

新宿区新宿3-37-2
☎03-3344-3160 新宿観光振興協会



練馬区
「カジュアル」に農とふれあう「練馬果樹あるファーム」

区内で生産されているブルーベリーやカキ、イチゴなどの果実を、摘み取ったり直売所で購入することができます。

練馬区内各地の摘み取り園、直売所
☎03-5984-1403 都市農業課農業振興係

もっと活用しよう!

特別区自治情報・交流センター

特別区自治情報・交流センターとは?

特別区(東京23区)を中心とする自治に関する資料を収集しており、蔵書数は約9万冊。特別区や行政について知りたい、調べたいときなどにご利用ください。

こんなことやるよ



墨田区「すみだ北斎美術館」紹介展示 ～成長し続ける美術館～「すみだ北斎美術館」の魅力に迫る



「すみだ北斎美術館」は、平成28年11月22日、「葛飾北斎」が生涯を送ったゆかりの地である墨田区亀沢に開館しました。

今回の展示では、世界的な芸術家として名高い「葛飾北斎」作品の魅力を紹介するとともに、美術館が行う多彩な企画展の見どころなども紹介します。また、斬新な外観デザインで注目を集める美術館の建築模型の展示や、北斎漫画の魅力的なキャラクターもパネルとして登場します! すみだの新たな名所として誕生した「すみだ北斎美術館」の魅力と北斎の世界をぜひお楽しみください。

展示スケジュール

開催日 平成29年7月7日(金)～8月16日(水)(日曜・祝日を除く)
展示時間 平日 9:00～20:30 土曜日 9:00～17:00
会場 東京区政会館 1階エントランスホール(千代田区飯田橋3-5-1)

すみだ北斎美術館 案内

開館時間 平日 9:30～17:30(入館は閉館の30分前まで)
休館日 毎週月曜日、年末年始(月曜日が祝日または振替休日の場合はその翌平日)
AURORA(常設展示室)観覧料 一般 400円/高校生・大学生・専門学校生・65歳以上 300円
企画展観覧料 企画展ごとに観覧料は設定されます(HPをご覧ください)
所在地 墨田区亀沢2-7-2
最寄駅 都営大江戸線「両国駅」A3出口 徒歩5分
JR総武線「両国駅」東口 徒歩9分
墨田区内循環バス「すみだ北斎美術館前」下車すぐ
電話番号 03-5777-8600(ハローダイヤル) **公式HP** <http://hokusai-museum.jp>



これ、なんの数字??

特別区に関するトピックを数字から読み解いてみよう!

56.5% → 76.9%

●特別区全体における不燃化率の変化

調査実施年	不燃化率/全建物(%)	不燃化率/住宅等(%)	不燃化率/事務所等(%)
1985(昭和60)年	56.5	41.8	95.4
1995(平成7)年	69.0	55.2	98.0
2005(平成17)年	74.2	63.0	98.7
2015(平成27)年	76.9	67.4	99.1

※出典:特別区統計情報システムより算出

●2015年 区別不燃化率/全建物(%)

特別区 統計情報システムより作成

75～
～75
～60



この数字は、1985年から2015年の過去30年間における特別区の建物の用途別不燃化率の変化です。左表のとおり全建物における不燃化率はこの30年間で約20ポイント上昇してきました。建物の用途別に見ると、事務所等の不燃化率は30年前から高い水準にあったため、主に住宅等の不燃化率の上昇が全体の向上に寄与していることがわかります。

一方、2015年の不燃化率(全建物)を区別に見てみると、最大の区が99.3%であるのに対し、最小の区は55.0%と大きな開きがあります。さらに、左のように区別不燃化率を地図で表してみると、特別区の区域内でも中央部を取り囲むように不燃化率の低い地域が広がっている様子が見てとれます。これには、JR山手線外周部を中心に分布している木造密集地域の存在などが関係していると想定されます。

今後の首都直下地震に伴う地震火災などに対する備えとしても木造密集地域の不燃化への取り組みは進められており、東京都が整備した方針や制度のもと、区が助成・支援事業を展開するなど、都区で連携した取り組みが行われています。今後もさらなる不燃化への取り組みが推進されていくのではないのでしょうか。

所蔵資料 蔵出し

特別区に関する資料から読み解いてみよう!

おすすめのほんだよ



昭和27年の東京に タイムスリップ 「都民の手帖」

昭和27年版「くらしの便利帳」

今回は、遡ること65年前に発行されたレトロな小冊子「都民の手帖」をご紹介します。これは、今でいうところの区役所が配布している「くらしの便利帳」のようなものです。

表紙は、五街道の起点となる日本橋の風景で飾られ、左側は江戸時代の日本画、右側は昭和20年代当時の写真と、ツェフェイスの粋なデザインとなっています。



江戸時代の日本画 ⇄ 昭和20年代当時の写真

変わったもの、変わらぬもの

さて、さっそく手帖の中身をのぞいてみましょう。

面積2,031km²、人口700万人など東京都の統計数字から始まり、公共施設の一覧表などがコンパクトにまとめられています。四季の案内ページには、秋は台風による水害があったこと、国鉄(現在のJR)・私鉄の路線図には、都電やトロリーバスの路線が描かれ、現在とは異なる様子が見てとれます。

都民にはあまり嬉しくない都税一覧表も掲載されています。「芸者への花代、税率は料金の100%」……。昔はなかなか厳しかったようです。

ページの合間に差し込まれた広告も、時代を感じさせるものです。テレビ放送は昭和28年に開始されたため、この当時はラジオ局の広告が並んでおり、その他百貨店、ガス会社のものもあります。広告収入を作成費用に充てるというこの仕組みは、半世紀以上も前の先人の知恵だったのですね。



国鉄・私鉄の路線図

23区の自治にとって大きな転換期であった昭和27年

「施設あんない」のページでは、公共施設の住所、電話番号などが一覧で掲載され、現在と変わらぬ23の区役所が名を連ねています(23区は昭和22年に誕生)。

本書が発行された昭和27年は、23区にとって大きな転換を余儀なくされた一年でした。同年に改正された地方自治法によって、23区は東京都の内部的な団体になるとともに、区長公選制が廃止され、大きな制度改革が行われたからです。

そんなさなか、東京都の監修により本書が発行されていたのです。

激動の時代に思いを馳せる

昭和20年代は、戦後間もない復興期であるとともに、地方自治もまだまだ発展途上にあつた激動の時代です。茶色く変色し、ところどころ破れた本書は、そんな時代に生きた人々の思いを伝えてくれるどこかノスタルジックな一冊になっています。



施設あんない

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い!

コマなく さんぽ



江東区

環境問題を体感しながら学ぼう!

環境学習情報館

「えこっくる江東」

開館10周年を迎えた「えこっくる江東」は、ごみやエネルギー等の身近な環境問題を楽しくわかりやすく学べる学習施設です。私たちをとりまく大切な自然や環境について、見て・聞いて・触れて・体験しながら考えてみませんか?

エコのアイデアが
ぎゅっと詰まった
施設だよ!

えこっくる江東
環境学習情報ナビゲーター
「たすけくん」®



大人も子どももわくわく体験!

「えこっくる江東」は、すべての生きものにとって住み良いエコロジーな環境を作り、豊かな江東区にしようと「エコ」+「作る」+「江東」という意味を合わせて名付けられました。江東区清掃事務所と併設した施設は、太陽光発電や雨水の利用、屋上緑化等、建物そのものがエコロジー。1階は常設展示室、2階は企画展示コーナーで、ごみ処理問題や環境問題について楽しく学べる工夫がいっぱいです。

また、同館では年間200回以上の環境講座を開催しています。特に夏休みはほぼ連日、様々なテーマで外部から講師を招き、受講料は無料、材料費のみで夏休みの研究や工作にもぴったりの内容とすれば、受講者が抽選になるほど大人気というもうなずけます。



屋外では太陽光と風力の自然エネルギーの活用、みどりのカーテンや接道部の緑化、生きものと共生するビオトープ、ハーブ園、田んぼや畑、雨水や剪定材の循環利用などさまざまな設備を取り入れています。

みんなで作る、 地球に優しい自然環境

江東区の歴史は、江戸時代に始まり、それは埋め立てとごみ問題を踏まえた歴史でもあります。そのため、区の政策でも環境保全を重要視しています。同館は「エコサポーター」というボランティアのみなさんが館内のガイド役として協力する他、敷地内のビオトープは近隣大学の学生が、屋上のハーブガーデンはハーブ講座受講者がサークルを結成して管理する等、様々な方の協力により運営されています。江東区は2020年の東京オリンピック会場が数多く設置されることでも注目され、気運もますます高まっているとのこと。同館が発信する創意工夫に満ちた環境保全への取り組みが、きっと大勢のエコロジストたちを育てていくことでしょう。



「地球ゾーン」と「生活ゾーン」に分かれている1階常設展示室は、地球環境から私たちの生活とその見直しまでを学ぶことができます。2階は企画展示コーナー、情報コーナー、研修室、ワークショップルームを設置。興味のあるテーマを図書や資料で調べたり、環境学習プログラムに参加することができます。

えこっくる江東

所在地 江東区潮見1-29-7
開館時間 9:00~17:00(常設展示室は9:30~17:00、入館は16:30まで)
休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日) 年末年始(12月28日から1月4日)
お問合せ 03-3644-7130 <https://www.ekokuru-koto.jp/>



とくべつクマ特別調査

23区の

ワン ツー スリー
1・2・3

東京を訪れる外国人
旅行者に1番人気がある
地域はどこだろう？



外国人旅行者が訪れた 訪問先ランキング

1位 新宿・大久保(新宿区) / 57.7%

2位 浅草(台東区) / 49.9%

3位 銀座(中央区) / 48.9%

※調査対象は日本旅行を終え、羽田空港・成田空港から出国しようとしている、訪日外国人(ただし、1年以上の滞在者等日本に居住している人、日本に入国しないトランジット客、日本人の配偶者等は除く。)。調査方法は羽田空港・成田空港における国際線ターミナル搭乗待合ロビーにおいて調査員による対面アンケート方法で実施した。

(出典)東京都産業労働局観光部「平成27年度国別外国人旅行者行動特性調査」結果



堂々の1位は新宿・大久保。過去10年間で9回もNo1に輝いたんだって！新宿の魅力はどんどこなのかな？新宿観光振興協会の菊地さんに、新宿の魅力と外国人旅行者招致やおもてなしのための工夫について聞いてきたよ。

最先端と伝統、人情味あふれる横町まで、 様々な顔をあわせもつ都市

新宿区の魅力はズバリ“多様性”。超高層ビル群と緑あふれる新宿御苑、世界に名だたる歓楽街の歌舞伎町、江戸情緒が色濃く残る神楽坂など、まさに百面相のまちです。「新宿」というイメージをひとつの象徴に絞り込めないほど多彩なことが、多くの旅行者を惹き付け、飽きることなく何度も訪れたいエリアとして不動の人気を誇っています。



新宿観光振興協会
菊地 加奈江さん



きめ細やかな「情報」と記憶に残る「体験」を提供

新宿観光振興協会では、新宿エリアのどこでもインターネットに繋がり、欲しい情報を見られるよう、無料WiFiの整備を進めています。平成28年には新宿駅東南口高架下に観光案内所を開設し、各国語訳の観光案内パンフレットや両替機を設置しました。利用者の7割以上が外国人旅行者だそうです。

新宿を訪れる外国人旅行者の最大の目的はやはりショッピングですが、茶道や染色等の「和体験」も人気上昇中。「買う」「食べる」という楽しみに「体験」がプラスされることで、さらに印象深い旅となることでしょう。



新宿区に居住している外国人の人口も都内1位！多種多様な国の人が暮らし、行き交う国際観光都市新宿は、懐の深い魅力あふれるまちです。



新宿観光案内所

所在地 新宿区新宿三丁目37番2号
営業時間 10:00～19:00
休館日 年中無休(12月29日～1月3日は除く)
お問合せ 03-5357-7120

地域とコラボして新宿の魅力をパワーアップ！

もっと新宿の魅力を広く深く伝えたい、そのために官民一体となってPRに注力しています。平成27年には新宿区商店会連合会と連携して、商店会会員が外国人旅行者に対する接客サービスを無料で学べる「新宿おもてなし大学」を開校しました。交通アクセスも抜群に便利で宿泊施設も充実、昼も夜もエキサイティングなまち、新宿。これからもますます目が離せませんね！

一般社団法人新宿観光振興協会

所在地 新宿区西新宿6-8-2 BIZ新宿3F
お問合せ 03-3344-3160
<http://www.kanko-shinjuku.jp/>

特別区自治情報・交流センターからのご案内

特別区自治情報・交流センターでは、様々な講座や企画を開催しています。ぜひご参加ください。
※講座や企画の詳細は(公財)特別区協議会ホームページ(HP)をご覧ください。

東京区政会館1階展示スペース

東京区政会館1階エントランスホールで各種展示を行っています。どなたでも自由にご覧いただけます。

開催時間 平日|9:00~20:30 土曜日|9:00~17:00 日祝|休館
(公財)特別区協議会 HP <http://www.tokyo-23city.or.jp/>

**「すみだ北斎美術館」紹介展示
～成長し続ける美術館～
「すみだ北斎美術館」の魅力に迫る**

主催 墨田区・(公財)特別区協議会
日時 平成29年7月7日(金)～8月16日(水)(予定)

**特別区全国連携プロジェクト
平成29年度
第1回全国連携展示(京都市町村)
「お茶の京都」を知る**

主催 特別区長会・
(公財)特別区協議会
日時 平成29年8月21日(月)
～9月29日(金)(予定)



「とくべつクマ®」の着ぐるみ誕生!

この度、公益財団法人特別区協議会の公式キャラクター「とくべつクマ」の着ぐるみが誕生しました。

23区のあるこれを広く日本全国のみなさんに知ってもらいたいという特別な思いを抱き、23区について日々学んでいる「とくべつクマ」。

身近なキャラクターとして様々なイベントなどに出没(登場)していく予定です。見かけたらぜひ声をかけてください。応援よろしくお祈りします。



編集後記

今号では、とくべつクマのクマなくさんぽで紹介している「えこっくる江東」をはじめ、この時期訪れてほしい23区のおすすめスポットを紹介しています。

身近なところから訪れてみてはいかがでしょうか。 (H&F)



特別区自治情報・交流センター

千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館
開館時間: (4階)9:30~20:30
(土曜日は9:30~17:00)
休館日: 日曜日、祝日、年末年始等

One23に掲載されている各種資料等の情報はコチラ
<http://www.research.tokyo-23city.or.jp/>



東京メトロ 東西線 飯田橋駅 A5出口すぐ
東京メトロ 有楽町線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
東京メトロ 南北線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
都営地下鉄 大江戸線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
JR中央・総武線 飯田橋駅 東口徒歩5分